

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	住居論（Theory of the dwelling）		
ナンバリングコード	L20403	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L040351	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、 履修条件	建築設計を志している人は必ず履修すること。建築を学ぶ意欲があることが履修条件です。 講義の内容をその時間内に理解するよう心がけること。授業中の私語は他の受講者の迷惑になるため厳禁です。目と手だけで受講するのではなく、目と手と耳、その他の感性を縦横に発揮して受講して下さい。		
教科書	教科書は用いず、毎回、配布する資料をもとに授業を進めます。		
参考文献及び指定図書	適宜紹介します。		
関連科目	建築計画、設計製図、日本建築史		

○基本情報		
授業の目的	人間にとって、住居はなくてはならないものです。この授業では、「建築」が心ある人間にとってかけがえのない存在であり、住まいの構築とともに人間の営みが形成されているといった観点から、住居建築の重要性と可能性に関心を持つことができるようになるための授業を行います。受講によって、「建築」の人間学的意義や人生において「住む」ことを考えることの重要性、そして、住宅設計の多様な可能性についての展望をつかむことができることを目的とした授業を行います。また、住宅の歴史に関する基本的知識を習得するとともに、それらを体系的に理解し、表現できるようになることをめざします。加えて、自ら経験した住宅を第三者に表現できる能力を養います。そのうえで、自らの拠り所になる「住まい」について考え、その思考を踏まえて創造的に構築された理想的な住宅のあり方を見出し、その内容を第三者に表現できる能力を修得することを目的とします。	
	住宅の歴史と計画のあり方に関して講義を行います。世界の住宅事例を見ていくなかで、豊かな暮らしを支える住居のあり方について講義を行います。また、時系列に沿って日本の住宅の歴史的背景について解説します。特に現代住宅に関しては、その成立構造を機能・空間・造形に着眼して説明します。講義は多数の建築写真、建築図面を用いて、ビジュアルに行います。各自の設計手法確立の一助となることを期待します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「反転授業」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	配布プリントはワークシート形式になっています。授業中に示された内容に沿ってブランクに適切な用語を記してください。それによって専門用語を習得します。		10点	10点
【知識・理解】	日本の住宅の歴史を体系的に理解する。住宅の居室の特徴に関して理解する。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	自らの住居を検討し、図面にて表現する。自らの図面と一般的な住居平面の歴史的変遷との比較から、自らの住居の位置づけを知る。		30点	
【思考・判断・創造】	住居の成立構造を機能・空間・造形に着眼して体系的に理解する。最も関心のある住宅建築に関して、機能・空間・造形・歴史的な観点から解説し、その独自性を表現できる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
＜成績評価のポイント＞ 1. 毎回の授業プリントの成果 (約25点 : 授業プリント1回提出につき2点、期限遅延の場合1点) 2. 毎回の授業課題レポート (約25点 : 授業プリント1回提出につき2点、期限遅延の場合1点) 3. 年初提出レポート(A2) (25点 採点のめやす S: 23点以上、A: 20点以上、B: 18点以上、C: 15点以上) 4. 期末提出レポート(A2) (25点 採点のめやす S: 23点以上、A: 20点以上、B: 18点以上、C: 15点以上)	
フィードバックは、適宜行います。	

○その他	
＜成績評価のための提出物＞ 1. 毎回の授業プリントの成果 オンデマンド動画を視聴し、授業プリントを完成させ、毎回、期日までに＜授業プリント 提出BOX＞に提出 2. 毎回の授業課題レポート オンデマンド動画を視聴し、それをふまえて、課された課題レポートを作成し、毎回、期日までに＜住居論 課題 提出BOX＞に提出 発表担当会に、教室にて課題レポートを発表する。 3. 年初提出レポート(A2) 年明け1回目の授業日までに「各自の自宅の平面図と生活状況」を図と言葉で記したもの(A2サイズ)を提出。(A2サイズで作成したものを写真で撮り、画像データにて提出。 ただし、画像データを見て内容がわかるようなサイズで提出すること。 画像データの不備にて、内容確認ができないものは、成績評価できません。) 4. 期末提出レポート(A2) 「自ら最も関心のある住居建築」について、＜絵と図と言葉＞でまとめ、一枚の紙に表現し(A2サイズ)提出。 指定の期日までに提出。(A2サイズで作成したものを写真で撮り、画像データにて提出。 ただし、画像データを見て内容がわかるようなサイズで提出すること。 画像データの不備にて、内容確認ができないものは、成績評価できません。) (＜絵と図と言葉＞の図は、平面図・立面図・断面図を指す。 また、コンセプトダイアグラムを描くこと。絵は、建築物の外観・内観を描く。 言葉は、設計者と建築物名を含む設計概要。建築物の意匠、計画、構造、設備の観点からの分析。 ユーザー目線で見た建築物の魅力を自らの言葉で記すこと。後者二点が評価の重要項目。)	
・提出物は、デジタルデータのため返却しません。 ・提出物に名前の記載が無い場合、成績評価ができません。 提出前に、必ず、＜名前の記載確認＞をすること。 ・提出画像データのファイル名に学籍番号と名前を記すこと。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	住居論（Theory of the dwelling） 西村 謙司	授業コード	L040351
学修内容				
1. 住居論概要 住居論に関するオリエンテーションを行います。 また、成績評価に関する説明を行います。				
世界の集落と住宅の様子を見ていきます。				
予習	図書館に行き、世界の集落と住宅に関する書籍を探し、借りて読むこと。			約2時間
復習	予習の段階で借りた書籍の重要な点を文章にて箇条書きに記すこと。			約2時間
2. 住宅が建つまでのプロセス 現代住宅の制作プロセスに関する動画を見ながら、 現代住宅の計画段階における問題や課題について学びます。				
予習	住宅が建つまでのプロセスに関する動画を見ます。			約2時間
復習	住宅が建つまでのプロセスに関するレポートを書き、期日までに提出してもらいます。			約2時間
3. 自然素材と住宅 土、石、木、草、竹という自然素材を用いて建てられた住宅の事例を見ていきます。 世界の各地で、地域ごとに特性のある自然素材を使って建てられた住宅を見ることによって、 バナキュラーな住宅の多様なあり方を確認してください。				
予習	自然素材と住宅に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	自然素材による住宅の魅力と思われることをレポートしてください。			約2時間
4. 世界の多様な住宅形態 洞窟型、樹上型、水上型、テント型、屋根型といった五つの住宅形態を見ていく中で、 住宅形態の異同による住み方の特徴と空間造形のあり方について学びます。				
予習	世界の多様な住宅形態に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	世界のユニークな形態の住宅を探し、その住み方と空間造形の関係について調べ、レポートしてください。			約2時間
5. 世界の住居 1 自然条件に対応する住居の形態、住宅の形態を変化させる要因、風土的な建築などについて解説します。 特に各地域の自然と建築材料と建築工法の関係について説明します。				
予習	世界の住居1に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	＜自然＞と＜建築材料・建築工法＞の関係について調べ、レポートしてください。			約2時間
6. 世界の住居 2 自然の風土との関係をふまえ、世界の住居建築のうち、東アジア（韓国、中国）の住宅を事例として、その内容を解説します。				
予習	世界の住居2に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	韓国と中国の住宅との比較を踏まえ、日本建築の特徴を説明してください。			約2時間
7. 世界の住居 3 自然の風土との関係をふまえ、世界の住居建築のうち、モンゴル、ヤミ族、および、東南アジア（インドネシア、タイ）の住宅を事例として、その内容を解説します。				
予習	世界の住居3に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	東南アジアの住宅の特徴をレポートしてください。日本の住まいとの関係についても言及すること。			約2時間
8. 日本の近世・近代住居 日本における近世の住宅と明治維新以後の近代住宅について解説します。 江戸時代の身分制度と住宅様式の関係性や明治維新以後の日本住宅の変遷について解説します。 世界の近代建築のうち、優れた住宅作品についての動画を視聴します。				
予習	日本の近世・近代住居に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	日本と西洋の近代住宅の比較をもとにそれぞれの特徴をレポートしてください。			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	住居論（Theory of the dwelling） 西村 謙司	授業コード	L040351
学修内容					
9. 住居・住宅の目的、戦後の住居史					
慣習的に継承されてきた近世以前の住宅のあり方に対して、自由・平等な社会における住宅のあり方は、多くの可能性に開かれていきます。そのことをふまえ、再度、我々の生活の基盤となる住居・住宅の目的について再考します。 戦後から現代に至る日本の住居史について説明します。特に、LDKプラン、生活と住宅の平面計画の関係、起居様式と住宅のあり方をテーマとして、戦後住宅の変遷プロセスを見ていきます。					
予習	住居・住宅の目的、戦後の住居史に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	51C型住宅の特徴と問題点をレポートしてください。				約2時間
10. 住宅の類型					
現代住宅の類型に関して解説します。 現代住宅の体系的理解を目指します。 特に、戸建住宅と集合住宅の相違点と両者の特徴、問題点や課題、今後の可能性に関して解説します。					
予習	住宅の類型に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	少子高齢化社会における集合住宅のあり方として望ましい集合住宅の事例を参照し、その理由をコメントして				約2時間
11. 住宅と家族生活					
住宅と家族の関係性とライフプランに関して解説します。 ライフスタイル、ライフサイクル、ライフステージについて解説するとともに、住宅とライフの関係性の意義について説明します。					
予習	住宅と家族生活に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	住宅設計における子供部屋のあり方について、人のライフサイクルとの関係の中から各自が思うところをレ				約2時間
12. 住宅設計プロセスと住空間調査					
住宅設計のプロセスと住空間調査のあり方に関して説明します。基本計画・基本設計・実施設計・施工というプロセスの中で建築家の果たす役割と住宅設計に関わる際のポイントについて、解説します。住宅設計のプロセスの理解を通して、住宅設計活動のあり方を総合的に確認するとともに、今度の各自の課題について考えることを問題とします。					
予習	住宅設計プロセスと住空間調査に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	「各自の自宅の平面図と生活状況」を図と言葉で記したもの（A2サイズ）を提出。				約2時間
13. 住宅の構成と住宅設計手法					
住宅の内部空間構成に関して解説します。特に、住宅の機能的観点から、 住宅のパブリックスペース・プライベートスペース・サービススペースという空間構成について解説します。 また、ゾーニング、動線計画、平面計画、断面計画など、住宅設計を行う際の重要な手法に関して解説します。					
予習	住宅の構成と住宅設計手法と住宅に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	予習と授業をふまえ、「住宅設計手法」について考えること。				約2時間
14. 住宅の平面展開と断面展開 / 各室の計画					
住宅の平面展開と断面展開の可能性について学びます。 住宅の居室の理想的なあり方に関して解説します。 特に、リビングを取り上げ、住宅を構成する諸室を問題とし、個々の部屋を設計する際の問題と課題について解説します。					
予習	住宅の平面展開と断面展開 / 各室の計画に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	住宅における居間の特徴とその理想的なあり方について各自の見解を述べてください。				約2時間
15. 各室の計画					
住宅の居室の理想的なあり方に関して解説します。 特に、リビング、ダイニング、キッチン、寝室など、住宅を構成する諸室を問題とし、 個々の部屋を設計する際の問題と課題について解説します。					
予習	各室の計画に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。				約2時間
復習	居間と食事室、台所の関係のポイントと各住宅における個室のあり方の理想型について各自の見解を述べて				約2時間
16. 課題提出					
「自ら最も関心のある住居建築」について、＜絵と図と言葉＞でまとめ、一枚の紙に表現し（A2サイズ）提出。 指定の期日までに提出。					
予習					
復習					